

すわのまえいせきいぶついちらん 諏訪ノ前遺跡遺物一覧

いつのもの？どこの部分？どこからきたもの？
てんじかん ぶぶん かくにん
展示館で見られるので、確認してみよう！



すり鉢 15世紀ごろ



石臼 15～16世紀ごろ



染付・青磁（中国陶磁器）15世紀後半ごろ



獅子香炉のあし・懸仏 13～16世紀ごろ



滑石製石鍋（長崎産） 12～15世紀ごろ

現地説明会資料

令和6年1月20日

すわのまえいせき

主催：(公財)鹿児島県文化振興財団
埋蔵文化財調査センター

諏訪ノ前遺跡

共催：阿久根市教育委員会

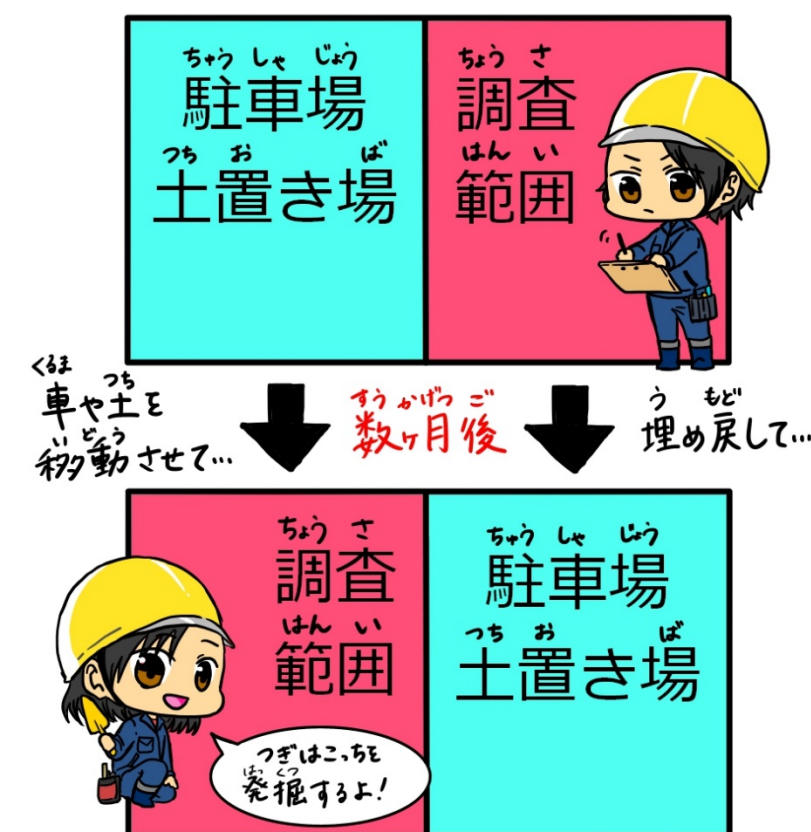
★ 諏訪ノ前遺跡について

諏訪ノ前遺跡は、南九州西回り自動車道建設にともない、令和5年5月～令和6年1月にかけて発掘調査を行っています。阿久根市波留の愛宕山のふもとに広がる標高約35mの台地上から下る斜面に位置します。南側から北側（南方神社のほう）にむけて、階段のように下っていく地形となっているのが特徴です。

発掘調査では、室町時代（約600年前）前後のものと考えられる掘立柱建物跡や溝、江戸時代（約400年前）以降と考えられる炉跡などがみつかっています。出土品は古墳時代（約1,600年前）の土器、室町時代～安土桃山時代（約400～600年前）のものと考えられる土師器や須恵器、中国から持ちこまれた焼き物（青磁や白磁など）が出土しました。

★ 調査について

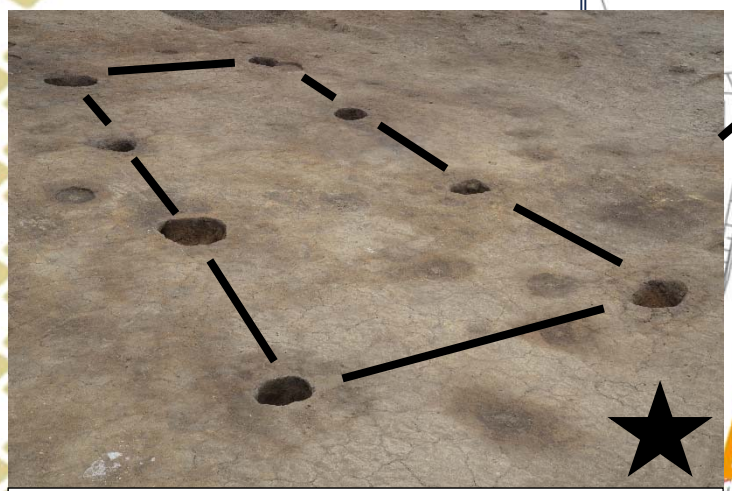
今回の調査は「反転調査」といって、調査をするところと駐車場を入れかえながら発掘する方法を進めました。そのため、遺跡の一部は駐車場や土の置き場になってしまい、残念ながら見ることはできない遺構もあります。



すわのまえいせきこういちらん
諏訪ノ前遺跡遺構一覧



みぞあと
溝跡 約 600 年前～



ほったてばしらたてものあと
掘立柱建物跡 約 600 年前



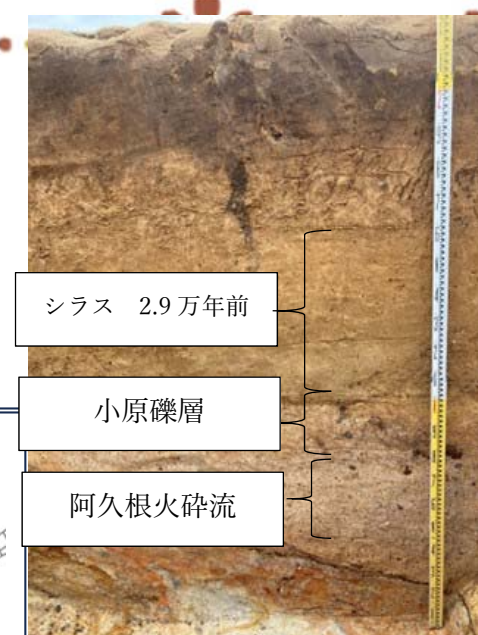
どこう
土坑 約 400～300 年前？
(トイレ？分析中)



たてあなたてものあと
竪穴建物跡 約 600 年前
じゅうきょ さぎょうば かのうせい
(住居か作業場の可能性)



れき はしらあな
礫が入られた 柱 穴 400 年前以降



シラス 2.9 万年前

小原礫層

阿久根火砕流

シラス下の地層
も見られます！

やく
約 600 年～400 年前の
いこう
遺構だったものを、
くかく さいきん
区画などで最近まで
つか かんが
使っていたと考えら
れるものもあるよ！



ろあと
炉跡 約 400～300 年前？
すみがま
(炭窯？かまど？分析中)



みちあと
道跡 約 600 年前～

★…今はもう見
られないもの

